

令和4年度事業計画

1. 基本方針

我が国においては、少子高齢化が進展し、総人口は、令和4年2月1日現在の概算値では1億2,534万人となり、長期の人口減少過程に入っています。

一方、65歳以上の高齢者人口は増加し、3,640万人となり「団塊の世代」が75歳以上となる令和7年には3,921万人に達するものと見込まれています。（いわゆる2025年問題）

北広島市においても令和4年2月末現在、高齢者人口は19,292人で市の人口に占める割合は約33.4%と高齢化が進んできています。

このように、我が国が超高齢者社会に向かって急速に歩みを進めている中で、元気な高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー人材センターは、ますますその役割を果たすことが求められており、そうした期待に対して、シルバー事業の一層の拡大を図りニーズに応えていく必要があります。

そのためには、まず「会員の拡大」と「多様化する就業ニーズ」への対応が重要となります。会員の拡大は、当センターはもとより北海道シルバー人材センター連合会や全シ協といったシルバー組織での重要課題となっています。特に高齢人口の男女割合や就業率の拡大からみて余地の大きい女性会員の拡大は最重点事項であり、令和4年度においても女性会員の入会促進と女性会員の更なる活躍に繋がるよう女性委員会（ほほえ〜む）の活動を通じた積極的な取り組みを図ってまいります。

さらには地域の活性化や高齢者及び会員の様々な就業ニーズ等をしっかり受止め、会員数の増強特に女性会員を重点とした入会促進や企業退職（予定者）層をターゲットとした入会勧奨の取組みと新たな就業機会の開拓等について会員・役職員が一体となり積極的な事業の推進に努めてまいります。

また、地域の日常生活に密着した事業を進め、会員の安全就業と適正就業の推進そして引き続き新型コロナウイルス感染渦（以下「コロナ禍」という。）の状況を注視しながら防止対策にも努めてまいります。

当センターでは、昨年度、保育園への花苗寄贈など地域社会への貢献については一部実施できたものの、2年連続シルバーふれあい祭りや秋の木工展示販売、道シ連のシルバーフェスティバルへの参加などの様々なイベント等がコロナ禍の影響により中止せざるえ

ない状況となりました。そのような中であってシルバー活動センターロビーを利用した木工製品や野菜販売など新しい取り組みも実施いたしました。

令和4年度の事業運営にあたっては、会員拡大計画に基づく様々な普及啓発促進活動によりシルバー人材センター事業を周知し、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、豊かで積極的な高齢期の生活と社会参加による生きがいの充実を図ることを目標として積極的にセンター事業を展開してまいります。

また、令和5年10月に導入予定の消費税における「適格請求書等保存方式（いわゆるインボイス制度）」による影響等も踏まえつつ、コロナ禍に負けないシルバー事業を円滑に推進してまいります。

2. 事業計画

「北広島市シルバー人材センター会員拡大計画」の目標数値を令和元年度の数値を基準とした当面の新たな数値に置き換え、具体的な取組み内容との整合を図りつつコロナ禍の動向にも留意しつつ以下の事業を展開します。

(1) 事業の普及啓発と就業機会の拡大

- ① シルバー人材センター事業をより多くの市民等に理解してもらうため、広報「北広島」の活用、マスメディアへの情報提供、センターホームページによる情報発信等により事業の普及啓発とセンターのイメージの転換と向上に努めます。
- ② 会報「ふれあい」を毎月、「ふれあい特集号」を7月と1月に定期発行し、事業実施状況や安全・就業情報、講習会など会員への情報提供に努めます。
- ③ 市民との交流を深めるため新型コロナウイルスの感染状況を見極めながらエルフィンパーク交流広場において「シルバー製品即売会」等の開催を検討します。また、市内で開催される各種行事に参加し、リーフレットやチラシ等を活用して、シルバー人材センターの普及啓発に努めます。
- ④ 公共施設等の環境保全に寄与する「一日奉仕デー」は新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら実施について検討するとともに、学校や高齢者施設等を支援する会員の地域ボランティア活動への積極的な参加を奨励し、地域社会への貢献を促進します。
- ⑤ シルバー活動センター及び大曲ふれあいプラザの指定管理者として、利用者が安全・快適に利用できるよう就業会員に対する施設管理・接遇研修を実施し、親しみやすい施設の管理運営に努めるとともに、各種講習会やイベントなどの自主事業については新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら実施を検討します。

- ⑥ 「普及啓発促進月間」には、シルバーパネル展やリーフレットの配布・街頭啓発及び市役所市民ギャラリーでの展示会など多様な広報宣伝活動に努めます。
- ⑦ 就業機会の拡大、会員の拡大に向け、役職員による企業等への訪問活動を実施します。
- ⑧ 発注者のニーズの把握と就業の拡大に努めます。
- ⑨ シルバー活動センターにおいて木工品や野菜などシルバー製品のPR並びに販売促進を図ります。

(2) 安全就業の推進と健康の確保

- ① 就業にあたっては、安全が最優先です。安全就業対策基本計画を策定し、安全管理体制の充実、事故防止対策の徹底、安全意識の啓発等を図ります。
- ② 事故を未然に防止し、安全就業を確保するため「安全就業指導基準」「作業別安全就業基準」「安全の心得」の周知・遵守を徹底し、事故ゼロを目指します。
- ③ 安全就業に対する意識を高めるため、職群班会議で事故に関する情報を共有するとともに、安全大会や安全講習会の開催、安全標語等の募集などを実施します。
- ④ 安全就業についての啓発を図るため、無災害記録記載看板の掲示、「作業別安全就業基準」の周知など安全就業に関する意識啓発を行います。
- ⑤ 安全委員会による就業現場のパトロールを定期的の実施し、就業現場の点検確認と作業の安全について指導します。
- ⑥ 発生した事故については、事故原因を検証するとともに、会報や地区懇談会等で事故概要を説明し、事故に関する会員への周知を図り、安全意識の徹底と再発防止に努めます。
- ⑦ 厚生労働省の「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）などを活用し、安全意識の徹底とその高揚を図ります。
- ⑧ 新型コロナウイルス感染症は高齢者ほど重症化しやすいとされていることから、会員が安心して就労できるよう感染防止対策を徹底するとともに、コロナ禍における新しい生活様式の定着を促進します。

また、日常的な健康管理、体力づくりなどを図るとともに、健康状態の把握のため定期的な健康診断の受診の奨励に努めます。

(3) 適正就業の推進

高齢者に相応しい臨時的かつ短期的な就業、その他の軽易な業務に係る就業機会を確保し、適正就業に努めます。

(4) 職業紹介事業の実施

臨時的かつ短期的な就業、その他の軽易な業務に係る雇用労働を希望する高齢者に対して、状況により職業紹介事業を実施します。

(5) 一般労働者派遣事業の実施

多様な就業機会を確保するため、一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の受託が可能な職種・分析と就業開拓に取り組み、北海道シルバー人材センター連合会北広島市事務所として、派遣就業の拡大に努めます。また、派遣労働者の同一労働・同一賃金のルールに基づき正規雇用労働者と非正規雇用労働者との間の不合理な待遇格差を解消した就業環境の整備に努めます。

(6) 会員の拡大と知識・技能の向上

- ① 「北広島市シルバー人材センター会員拡大計画」の具体的取組事項に定める令和4年度の新規・重点・継続の各個別事項についての取組を実施し、会員の拡大に努めます。
- ② 会員が新たな知識・技術・技能を身につけることは、就業機会の拡大につながることから新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら各種講習会等を開催し、会員のスキルアップを図ります。
- ③ 草刈や草取り、剪定等の業務は後継者不足が懸念されることから、後継者の育成を図ります。
- ④ 一般市民を対象とした就業体験講習会を新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら開催し、センターのPRに努め、シルバー事業への理解と新規会員の加入促進を図ります。
- ⑤ 会員としての心得や入会後の状況、要望等の把握、仲間づくりの促進を図ります。
- ⑥ 家事援助サービスの提供による女性会員の拡大及び空き家管理対策事業への参入検討による就業拡大を図っていきます。
- ⑦ 退会会員の抑制に向けて、未就業会員等に対する相談を通年により実施し、就業機会の提供に努めます。また、ゴールド会員への登録を希望する会員には移行を促します。
- ⑧ 女性会員の就業機会の拡大と新規女性会員の入会促進、会員の情報交換等の推進を図るため、女性委員会「ほほえ～む」の活動の活発化に努めます。

(7) 組織の強化と事務局体制

- ① 地域班は、センターの自主的・主体的運営を支える基本的な組織です。地区・地域班活動及び班長・役員活動を支援し、地域活動の活性化に努めます。
- ② 地域班長連絡会議や職群班との打合せを適切に行うとともに、地区懇談会を開催し、会員と役員との意思疎通に努め、事業運営に反映させていきます。
- ③ 理事会や専門部会、各種委員会においてセンターの組織・事業活動のあり方について検討するとともに、他センターの活動を調査・研修するなど自主的活動を推進し活性化に努めます。
- ④ センター事業の適正な運営と組織の最適化を図るため、事務局体制を見直します。また、職員研修等に参加し見識を広め、職員のキャリアアップに努めます。

- ⑤ コロナ禍においても、デジタル社会への変革が急速に進行していることからセンター事業においてもアフターコロナを念頭に置いたICTの活用等、新たな事業運営のあり方や会員に対するスマホ教室の開催検討等ICTリテラシーの向上に努めます。

※ICTリテラシーとは、コンピュータやインターネットをはじめとする情報技術(IT:Information Technology)を適切に活用する基礎的な知識や技能のこと。

(8) 会員の福利厚生

北広島市シルバー人材センター親睦会との連携を図り、会員交流会等を実施し、会員相互の親睦と情報交換、福利厚生に努めます。

(9) 独自事業の推進

- ① 会員の職業経験や創意と工夫による事業活動を基本として、就業機会の拡大と独自事業の活性化を図るため、花苗づくり、腐葉土づくり、木工品づくりの3事業を推進していきます。なお、事業の効率化等に努めるとともに、事業の安定をめざし、シルバー活動センターや各種イベントを通じたシルバー製品のPR並びに販売促進を図ります。
- ② ブルーベリーの試験栽培や野菜作りを継続するほか、会員の提案や他センターの事例等を参考に持続可能な事業を研究します。

(10) 地域就業機会創出・拡大事業

北広島市及び関係団体等と連携して、北海道ボールパークFビレッジ関連業務(例えば草刈り・ゴミ拾い・落ち葉集め)など地域社会の発展等につながる新たな就業機会を創出する事業について管理会社との具体的な検討を行います。

(11) 財政基盤強化

- ① 財政基盤の安定を図るため、国及び市からの補助金の確保に努めます。
- ② 公共団体や企業、家庭からの受注拡大をめざしたきめ細かな就業拡大に努めるほか、賛助会員の勧誘や就業との連動に努め、就業開拓を行います。
- ③ 限られた財源を有効に活用できるよう事業投資を見極め、経費の節減や事務運営の効率化を図り、財政基盤の強化に努めます。

(12) 関係機関・団体との連携強化

北海道シルバー人材センター連合会及び他シルバー人材センター、北広島市等の関係機関・団体との連携強化を図り、事業の円滑な推進に努めます。

3. 事業目標

令和4年度の主な事業目標は、次のとおりとします。

(1) 会 員 数 540人以上 (会員拡大計画の修正後の目標会員数)

(2) 受注契約金額 224,000千円 (派遣事業を含む)

※前年度 224,000 千円

以 上